

SAGA

業界：金融サービス

地域：イギリス

課題

- ・ ミスが発生しやすい手作業による支払プロセス
- ・ 支払遅延の常態化
- ・ 複数のプラットフォームで構成される集中型の財務機能と分散型の購買調達機能

ソリューション

- ・ Coupa Procure-to-Pay (P2P)
- ・ Coupa Pay
- ・ Coupa SIM
- ・ Coupa InvoiceSmash

成果

- ・ 請求書・承認プロセスの自動化と完全電子化
- ・ Coupa Payを通じた間接経費とマーケティング請求書の処理率約90%
- ・ 支払実行承認スピード約98%アップ
- ・ 請求書処理サイクルタイム約70%短縮

Saga社、Coupaで財務と購買調達のスマート化を同時に推進

Sagaは、50代以上のイギリス人の間で高い知名度と信頼性を誇るブランドの1つです。一般的には、この世代向けにホリデープランやクルーズの旅を提案するブランドとして知られています。それに加え、幅広い保険商品や個人向け金融商品も取り扱うほか、自社出版物「Saga Magazine」も発行しています。

このように、Sagaという1つのブランド内で多様なビジネスモデルが展開されているため、市場でひとつ破壊的な出来事が起きれば、同社は様々な影響を受けかねません。現在は、ビジネス支出管理（BSM）に投資したことで、業務を効率的に回すことができます。

21世紀型の支払処理プロセスを実現する

2019年、Saga社はプロセスの簡素化とデータ化、デジタル化、ブランドの変革を目的とした数か年戦略を実行に移しました。その一環として、この複合企業が展開する数多くの事業全体で財務プロセスを電子化および簡素化する取り組みを行いました。着手して間もなく、財務担当ディレクターのDavid Moore氏は、完全に紙で管理されていたSaga社の手作業によるサプライヤー向け支払プロセスを徹底的に見直す必要があることに気づきました。

同社ではそれ以前にも、非クラウドベースの支払自動化ソリューションを導入しようとしたことがありましたが、成功には至りませんでした。Moore氏はその時の経験から、Saga社のサプライヤー向け支払プロセスに総合的なアプローチを取る必要があると考え、

この取り組みの対象範囲を支払プロセスに留まらず、調達から支払いまでの（P2P）プロセス全体に広げ、クラス最高のソリューションを実装することを目指しました。

未来の購買調達の改善に向けた、現在の支払プロセスの課題への対処

Saga社は、同社の購買調達戦略により優れたアプローチを展開できるだけでなく、支払プロセスを自動化できるプラットフォームであるという理由から、Coupaの使いやすいソリューションを選択しました。その結果、Sagaグループ全体で購買調達を調和させることができたのです。Coupaのフロントエンドは使いやすく、ユーザーの定着化を大きく後押ししてくれます。また、Coupaは完全なP2Pソリューションなので、プラットフォーム内で直接サプライヤー向けの支払処理を行うことができます。

Saga社では、変革の下準備として、まずは支払プロセスの自動化に取り組みました。支払ワークフローをデジタル化することで大幅な業務効率化やコスト削減、管理統制とコンプライアンスの強化を実現することができました。



Coupaは購買調達ツールでありながら、財務の自動化にも活用することができます。まさに私が必要としていたものでした。求めていた効率化のメリットを実現できただけでなく、非常に優れた購買調達ツールに添うことで、Saga社のサプライヤー管理に対する考え方も改めています。

Saga社 財務担当ディレクター **David Moore氏**

財務と購買調達の変革を目指してひとつのソリューションに投資

Saga社では、Coupaを導入したことで、Coupa内でサプライヤー台帳管理を完結できるようになりました。サプライヤーの記録を別の総勘定元帳プラットフォームで維持管理したり、「支払可」ファイルを別のシステムに統合する必要はもうありません。

現在、Saga社の間接経費とマーケティング請求書の約90%がCoupa内で処理されています。請求書と承認処理が完全にペーパーレス化（自動化のうえ、完全にデジタル化）されました。

この変革は財務部門が主導して取り組んでいます。実際に適切なテクノロジーがあれば複数の部門が同時に、よりスマートに成長できることを実証しています。Saga社では、財務が集中管理型であるのに対し、購買調達の領域は大幅に分散化が進んでいます。Moore氏は、BSMのメリットを他の領域にも広げることを目指しています。

週あたり数時間を取り戻し、付加価値の高い業務に充当

Coupaを導入した結果、Saga社の支払業務は大幅に効率化されました。データがそれを物語っています。支払処理実行の承認に費やされていた時間は週あたり2～3時間から3～4分まで減少し、請求書処理のサイクルタイムは約70%短縮されました。

また、これらの支払処理は、対応している安全な携帯電話やタブレットから24時間365日、いつでも実行することができるため、従業員も時間をうまく管理できるようになりました。

Saga社は、Coupaを使用して複雑な銀行委任プロセスを合理化することで、支払ワークフローをさらに加速させました。新たに自動化された支払実行処理に合わせて設定を変え、各承認チェーンを、請求額、コストセンター、商品タイプごとに定義しています。

POのパワーを増大

また、Saga社では、POを通して支出を管理統制することで、コストも削減することができました。Moore氏は次のように述べています。「Coupaを導入するまでは、請求書データの照合にPOは使われていませんでした。また、POの発行作業は、各領域に分散した購買調達の実務家の手にゆだねられ、ほぼ手作業による一貫性のない方法で行われていました。今では、当社のユーザーは可能な限りPOを発行しており、契約内支出を含まない場合のPO発行率は約90%に上ります。

管理統制とコンプライアンスを通じた価値の創出

Saga社の支払部門では、書類の山や手書きの署名、またそれに伴うミスが過去のものとなりました。Coupaを通じたデジタルによる支払処理が設定され、管理されており、承認チェーンで完結します。Moore氏は次のように振り返ります。「以前は、正しい請求書に正しく署名されているか、また正しく承認されているか等の確認を行っていました。今では、そうした確認はシステムに内在する機能に組み込まれているため、気にする必要はありません。人為的なミスをチェックする必要はないのです。」

Saga社では、管理統制とコンプライアンスに焦点を当てることで、支払部門のビジネスパートナーとしての社内評価を上げることができました。Moore氏は振り返ります。「以前のシステムではミスや支払遅延が発生しやすく、支払部門に大きな不満が寄せられていました。」正確でリアルタイムのデータ共有と期日通りの支払という確かな実績により、ビジネス部門に対する支払部門のサービスレベルは上がりました。今ではビジネス部門のマネージャーから、支払部門の働きについて苦情ではなく賞賛の声が上がるほどになり、支払部門がビジネスにより優れた貢献ができていることは明らかです。

SAGA



ビジネス支出管理に投資したことで、財務部門と購買調達部門の連携が強化されています。Coupaは、当社のバックオフィスのデジタルデジタルトランスフォーメーションに重要な役割を果たしました。なによりもそれがSagaのデジタルトランスフォーメーションと簡素化戦略の柱なのですから。

Saga社 財務担当ディレクター **David Moore氏**

その他の成功事例については、[COUPA.CO.JP/CUSTOMERS](https://coupa.co.jp/customers)をご覧ください。